

【平成 23 年度・前期学期・マクロ経済学 I・演習 1】

☆ 表紙のページをダウンロードし 1 ページ目としてください。

【問 1】 つぎの文章に答えなさい。

- (ア) 「フロー変数」と「ストック変数」について説明し、違いを述べなさい。
- (イ) 最も単純な経済循環図を描き、それぞれの経済主体の役割について説明しなさい。また、マクロ経済学で扱う 4 つの主な市場を述べ、経済循環図とどのように関係するか簡単に述べなさい。

【問 2】 次の文章の正誤を判断し、誤っている場合には、なぜ誤っているのか 2～4 行程度で説明しなさい。
(単純に単語を入れ替えるのではなく、説明する文章を書くこと。文章として表現することが大切です。)

- (ア) 中間投入財とは、各企業が消費者に直接販売している財を指す。
- (イ) 日本の GDP における消費支出の占める割合は、おおむね 6 割強である。
- (ウ) フロー変数とは、ある時点で計測できる数量であり、フロー量を積み重ねてストック量が得られる。
- (エ) 日本の GDP はおおむね 600 兆円程度である。

【問 3】 ある経済では、パンのみを生産している。パンが出来上がるまでのプロセスが、

①小麦農家→②製粉工場→③パン工場→④パン屋→⑤消費者

の順番で製品化されるとしたとき、次のようにこれらの企業の金銭の授受が記録されているとすると、このプロセス①～④の各生産過程で生み出される GDP への寄与はそれぞれいくらになるか答えなさい。(ただし、地代、賃金、利潤は付加価値の一部で分配面の GDP に含まれる部分である。)

表：パンの生産プロセスでの金銭授受 (単位=千円)

(小麦農家)		(製粉工場)	
受取	支払	受取	支払
小麦販売額 260	地代 100 賃金 130 利潤 30	小麦粉の販売額 760	小麦の購入額 260 利子払い 100 地代 100 賃金 100 利潤 200

(パン工場)		(パン屋)	
受取	支払	受取	支払
パンの販売総額 1110	小麦粉の購入額 760 地代 120 賃金 130 利潤 100	消費者への販売総額 1360	パンの購入額 1110 賃金 200 利子 50 利潤 0

【問 4】 次のように、各年の名目 GDP と、価格指標として GDP デフレーターが与えられている。このとき後の (ア) ～ (エ) に答えなさい。

年	名目 GDP	GDP デフレーター
2000	520	100
2001	580	140
2002	590	155

- (ア) 名目 GDP と実質 GDP の違いを説明しなさい。
- (イ) 2000 年度価格を基準としたときの 2001 年、2002 年の実質 GDP を計算しなさい。
- (ウ) 2000 年度と 2001 年度間、および 2001 年度と 2002 年度間の名目 GDP の成長率を求めなさい。
- (エ) 2000 年度と 2001 年度間、および 2001 年度と 2002 年度間の実質 GDP の成長率を求めなさい。